

# Manners make the man.

## 1 マナーを振り返る

「日本人は礼儀正しい」とか「日本はマナーを守る国だ」とよく言われます。

サッカーの日本代表チームが海外で試合をした時、日本の観客たちは声をかけ合い、観客席のゴミを拾い、会場をきれいにしてから帰っていきました。このできごとは世界中で大きく報道され、日本人のマナーのよさを改めて知らせることとなりました。

一方で、マナーを守れない人が増えてきているという指摘も聞かれます。

電車やバスの車内などで、マナーを守ることを呼びかけるポスターを見かけたことのある人も多いでしょう。全ての人がマナーを守っているならば、わざわざそんなポスターを貼る必要はないはずです。

ところで、ここで言う「マナー」とは、いったい何なのでしょうか。

例えば、次の四種類の「マナー」について、知っていることはありますか？

- ◆ テーブルマナー (食事をする時のマナー)
- ◆ パブリックマナー (公共の場でのマナー)
- ◆ ビジネスマナー (職場や仕事上のつき合いなどにおけるマナー)
- ◆ ネットマナー (インターネットを利用する上でのマナー)

よく見てみると、私たちの身の周りには数多くの「マナー」があることに気づきます。このようなたくさんの「マナー」を守りながら、私たちは生活しています。

● ここで挙げた「マナー」の共通点は何だろうか？

## 2 マナーとルール

「マナー」とよく似ているものに、「ルール」があります。

例えば、サッカーでハンドをしたらルール違反（反則）となります。しかし、ふだんの生活の中でサッカーボールを手で持って運んだとしても、それはルール違反にはなりません。「ルール」はそのルールをつくった組織や集団の中で、また、それが必要とされる場面で適用されます。

「ルール」を守らなかった場合、何らかの罰（ペナルティ）が課せられます。サッカーでハンドをしてしまった場合、相手チームのフリーキックとなります。自分たちにとって不利な状況となるという罰が与えられるわけです。同じように、法律を守らなかった場合には、罰金や懲役などの罰が与えられるということになります。

では、「マナー」はどうでしょうか。「マナー」はどのように決められ、どのような場合に適用され、守らなかった場合はどうなるのでしょうか。

● 「マナー」と「ルール」の違いは何だろうか？



### 3 マナーの背景にあるもの

日本ではみそ汁を飲む時に、おわんに直接口をつけて飲みますが、フランス料理で皿を手にとって持ち上げ、直接口をつけてスープを飲んだら、周囲の人に嫌な顔をされるでしょう。

マナーは、その国や地域の文化や歴史によって変わるものです。一つ一つの「マナー」の背景には、それが「マナー」となった確かな背景が存在するのです。したがって、「マナー」について考えることは、その国、その地域の人々の生活様式や、人々が歩んできた歴史を見つめることでもあるのです。

#### ● 文化や歴史の違いを超えて、「マナー」に共通するものは何だろうか？

### 4 人がマナーをつくり、マナーが人をつくる

昔からずっと変わらず受け継がれてきたマナーがある一方で、社会や生活スタイルが変化してきたことによって失われつつあるマナーもあります。

また、かつては存在しなかったのに、現代社会では必要なものとして身につけていることが求められるマナーがあります。

そう。マナーは時代や社会に応じて変化するものなのです。

今後、社会の変化はますます急速になっていくことが予想されます。十年後、私たちは、今とは全く違う生活スタイルの中で暮らしているかもしれません。その新しい社会に合った新たなマナーも数多く生まれているはず。そして、その新たなマナーをつくり出し



## Manners make the man.

ていくのは、これから大人になっていく皆さんなのです。  
したがって、皆さんは、マナーとはどのようなものなのか、マナーの根底にあるものは何なのか、それをきちんと理解し、感じ、考えられる人でなければなりません。

マナーに厳しいイギリスに、次のようなことわざがあります。

**Manners make the man.**

直訳すると、「マナーが人をつくる」という意味になります。

マナーは人がつくるもの。しかし、同時に、マナーを身につけ、守っていくことによつて、人は「人」になっていく。そして、そういう「人」たちが集まり、次の社会、次の時代をつくっていく。

世界はそうやってできあがっているのだ。

ことわざから、そんなメッセージが伝わってきます。

では、改めて。

● マナーとは、いったい何だろう？

